

MEIJIMURA

2025
SUMMER

明治村だより

118



- 02 明治村の建築に視る 日本近代青春群像物語(十八) 芝川又右衛門邸 — 阪神と和洋の間に咲いた花(その2)
- 05 MEIJIMURA TOPICS & 夏の催しもの
- 07 A La Meiji-mura 「猫の本」の茶の間から



明治村みらい基金

私たちの未来を豊かにする「明治」の価値
一緒に残し、伝えていきませんか

歴史的建造物を中心とした「明治時代からの贈り物」を未来に残し続けるためには、多くの資金が必要です。明治村事業へのご支援をお願いします。

ご支援の内容

- ・本物の価値を残し、未来へ伝えるための展示建造物の維持・保存修理
- ・本物の価値を残し、未来へ伝えるための歴史資料の維持・保存修理
- ・未来の指針となる明治時代の価値を伝えるための展示(常設展及び企画展)
- ・明治時代製造の蒸気機関車及び京都市電の動態展示
- ・博物館明治村の事業全般

1回3,000円からご支援いただけます(マンスリーサポーターは月額1,000円から)
公益財団法人明治村へのご寄付は一定の「税制控除対象」となります。

ご返礼の内容

ご支援額に応じて、感謝の気持ちを込めたご返礼をお届けいたします。

【返礼品の例】

- 【年間3万円〜】 明治村へ入村券進呈 等
- 【年間10万円〜】 現地での活動報告ツアーご招待(建築・学芸・乗物各担当がご案内する特別なツアー)、ご支援者さまの集いご招待(明治村みらい基金1年間の活動報告)、第二のふるさと住民票発行(1年間入村無料) 等

ご寄付の方法

明治村みらい基金へのご寄付は、以下の方法で行うことができます。

- ・クレジットカード
- ・金融機関からの振込
- ・ゆうちょ銀行からの払込

詳しくは博物館明治村公式サイト内
「明治村みらい基金」をご覧ください。



〜ご返礼イベントを実施しました〜

- 3.20(木) ご支援者さまの集い
名鉄岩倉変電所にて開催。
- 6.15(日) 建築担当の活動報告ツアー
品川燈台等修理工事について報告。「ご支援者さまの集い」の様子



協賛会員 (令和7年6月1日現在)

敬称略:五十音順

ゴールド会員

名鉄都市開発株式会社 矢作建設工業株式会社

一般会員

- | | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|----------------|
| アイカ工業株式会社 | アサヒ飲料株式会社 | アサヒビール株式会社 | 厚見建設工業株式会社 |
| 株式会社安藤・間 | 株式会社磯部組 | 株式会社伊藤園 | 伊藤忠商事株式会社 |
| 因幡電機産業株式会社 | 株式会社魚津社寺工務店 | 株式会社エイムクリエイツ | NTT都市開発株式会社 |
| 株式会社NTTファシリティーズ | NTP名古屋トヨペット株式会社 | オーバースタイル株式会社 | 株式会社大林組 |
| 岡谷鋼機株式会社 | 株式会社オノコム | 鹿島建設株式会社 | 株式会社関電工 |
| キリンビバレッジ株式会社 | 株式会社熊谷組 | 株式会社鴻池組 | コクヨマーケティング株式会社 |
| 五洋建設株式会社 | 合資会社斉木研磨工業所 | 株式会社ザイマックス | 佐藤工業株式会社 |
| 株式会社シーイーテック | 柴山コンサルタント株式会社 | 清水建設株式会社 | 株式会社新高土木 |
| 株式会社スペース | スターツ東海株式会社 | 株式会社扇港電機 | ダイキン工業株式会社 |
| 大興建設株式会社 | 大成建設株式会社 | 株式会社竹中工務店 | 株式会社谷澤総合鑑定所 |
| 株式会社丹青社 | 中京テレビ放送株式会社 | 中設エンジ株式会社 | 中部電力ミライズ株式会社 |
| 鉄建建設株式会社 | 東京海上日動火災保険株式会社 | 株式会社東芝 | 東洋電機製造株式会社 |
| 戸田建設株式会社 | 株式会社中島工務店 | 中村耳鼻咽喉科(春日井) | 西日本電信電話株式会社 |
| 西松建設株式会社 | 日本たばこ産業株式会社 | 有限会社ねこりす | 能美防災株式会社 |
| 株式会社長谷工コーポレーション | 株式会社日立製作所 | 株式会社ファミリーマート | 株式会社フジタ |
| 株式会社不動テトラ | ホーチキ株式会社 | 前田建設工業株式会社 | 三井不動産株式会社 |
| 三井不動産ビルマネジメント株式会社 | 三菱商事株式会社 | 三菱電機株式会社 | 名高土木株式会社 |
| 名鉄EIエンジニア株式会社 | 名鉄エリアパートナーズ株式会社 | 株式会社森本組 | 株式会社ヤシマキザイ |
| 株式会社LIXIL | 若松物産株式会社 | | |



「明治村だより」第118号(令和7年夏号) 令和7年7月14日発行

発行 博物館明治村

〒484-0000 愛知県犬山市宇内山1番地 電話 (0568)67-0314 <https://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第119号発行のお知らせ

発行時期 令和7年9月予定

「明治村だより」は、順次Webで公開させていただきます。詳しくは博物館明治村公式サイトをご覧ください。

※郵送サービスは終了いたしました。ご了承ください。

表紙について 令和6年度写真コンテスト入賞作品 三須 美樹「しゅわしゅわ!! 夏だね!!」

芝川又右衛門邸

阪神と和洋の間に咲いた花

(その二)

館長 中川武

四 野生と文化のうねり

(一九二二〜二〇〇七)による甲陽園の住宅群や、安藤忠雄(一九四二)の「六甲の集合住宅」などが挙げられる。これらのプロジェクトには、大阪大都市圏から郊外へと広がる都市のスプロール現象を超えて、周囲の環境への強い想いや歴史的な阪神都市文化圏への愛着のようなものが感得できるのである。

三 大阪と神戸の間

以前に六甲山の麓に位置する新幹線新神戸駅から三宮の方へ歩いたことがある。十五年ほど前のことだったが、大きな老猪が繁華街の歩道をヨタヨタと歩いていた。私はビックリしたが「街の人はそれを見ても平気の様子。よくあることなのかもしれない」とその時思った。神戸市街地の人々にとって六甲山は、深く、険しい特別感と身近な親しみのような独特な距離感があることを垣間見たように思った。

日生劇場(一九六三年)や大阪新歌舞伎座(一九五八年)など多くの至高の作品を残した建築家・村野藤吾(一八九一〜一九八四)は、一時期建築のモダニズムを推進する視点から、村野の姿勢は商業主義が強すぎるとの批判もあったが、その芸術的手腕への高い評価は一貫していた。しかし、村野は国内では高く評価されてきた一方で、国際的には十分に注目されてきたとは言いがたい。村野の環境への繊細な感受性は、論理としては捉えにくく、国際的に

は理解しにくいものかもしれない。その村野の自邸が宝塚の清荒神(きよあらいじん)にあった。この住宅は多くの村野傑作の中でも眉目と見做されていたが、残念ながら阪神淡路大震災で倒壊してしまった。私は村野の生前にこの住宅に三度訪問し、村野から話も伺った。村野の自邸は、大和棟の民家の一部を移築したり、床柱の位置を微妙に変更するなどの改造の痕跡を至るところに残しているが、村野はそれについて長年あまり多くを語ることをしなかった。時に村野夫人が「若い頃から村野はお金が入ると、すぐ住まいの改築につき込んでしまうんですよ。」と語って下さったことがあった。村野は隣で微笑んで聞いていたが、「緑の多い清荒神の環境に馴染むように、住宅のアプローチを考えていました。」と少し力を込めて語っていたのが印象に残っている。その言葉のとおり、「気付いたらそこが村野邸の玄関であった。」——そんな自然な導線が敷地に息づいていた。このような敷地環境との呼応は、六甲山系の麓や東側周辺に見られる幾つかの住宅や住宅地開発にも共通している(図1)。たとえば、石井修



図1 六甲山系と阪神間の環境地理院地図を加工して作成



写真1 ベランダ写真(写真提供:千島土地株式会社)



写真2 一階ベランダより南西隅より南東隅を見る



写真4 一階客間・食堂 椀板の網代と葦簀を市松状に配した格天井

た頃、砂漠を駱駝ではなく馬で、颯爽と駆け抜ける西洋貴族風の冒険家たちに出会ったことがある。芝川には、まさにそのようなイメージがあったのではないか。彼は、上方というより、むしろ明治期の日本文化から失われつつあった「高貴な野性」を、この場所に喚起させたかったのではないか。武田はその想いに杉皮張りや造形の冒険によって応じた。その後、昭和初期の和館部分の増築時には、外壁仕上げを杉皮張りから凹凸のある白漆喰の塊りを打ちつけるドイツ壁仕上げ(写真3)に変更している。和風の透明感を生かしながら、ゼゼッション風の強い存在感を追求した結果と考えられる。

芝川邸は和館だけでなく、日本庭園や茶室などを充実させ、関西圏の上流階級の社交場としての役割を担っていた。そして、甲東園



写真3 外壁のドイツ壁仕上げに使用したササ

治末から戦後の昭和にかけての阪神間の環境・住宅・都市・文化のうねりに芝川邸はもまれ、同時にその形成に参与したプレイヤーでもあったといえよう。



写真5 二階座敷



写真6 二階四帖半和室

五 武田五一が和洋の境に見たもの

芝川邸一階の一続きの客間・食堂は、洋風でもあり、和風でもある。では和洋折衷か、といえば少し違う。天井は椀板の網代と葦簀の格天井、床はリノリウム張り、南北には二つの暖炉が向かい合う。二階座敷は、高い天井に障子と縦長のガラス窓の二重の開口部を備えている。しかし内外をつなぐ緩衝帯としての縁側空間ではなく、むしろ内外の立面処理の工夫と見るべきだろう。奥の四帖半和室には、イス座の工夫もなされていたというが、和室でありながらこの高い天井は、「和室だからこそ、外部の荒涼とした自然に対峙するにはこの高さが必要なのだ」と語りかけてくるようだ(写真6)。

MEIJIMURA TOPICS ▶ 2025.3-2025.6

3/18.20 開村60周年記念式典及び
対談「村長の10年、館長の10年、そして『夢の博物館』明治村へ」



関係機関(自治体や関連会社等)や建物の旧所有者、資料の寄贈者の方々をお招きし、三重県庁舎にて記念式典を行いました。式典では、高崎裕樹理事長と中川武館長より挨拶を行い、犬山市原欣伸市長より祝辞を賜りました。また、日本リードオルガン協会会長の中村証二氏によるリードオルガンの演奏を行いました。

阿川佐和子村長と中川館長の対談企画では、オルガニスト吉田文氏によるパイプオルガンの演奏の後、阿川村長と中川館長に明治村のこれまでと未来について語っていただきました。

3/8~6/29 開村60周年記念企画展
「ざくざく! ぞくぞく! わくわく!
明治村の“Oh!”たから大集合!

千早赤阪小学校講堂にて、明治村の60年を振り返る企画展を開催しました。明治村の歴史を①明治建築のサルベージ時代②博物館としての模索時代③より体感的な博物館を目指した時代と3つに区分し、各時代を象徴する品々とともに現在の明治村になるまでの道のご紹介しました。



3/18~6/29 「メイジ珈琲時館」及び「ミルで見る? 見るだけじゃない珈琲と喫茶店文化」

工部省品川硝子製造所に喫茶店「メイジ珈琲時館」が新しくオープンしました。オープンに併せ、明治時代の珈琲や喫茶店文化を、所蔵の珈琲ミルとともにご紹介する企画展を開催しました。

4/25.26 「第57回明治村茶会」

坐漁荘・亦楽庵席(席主:筒井如是庵)、学習院長官舎席(席主:北村美術館)、芝川又右衛門邸席(席主:和泉市久保惣記念美術館)の3席を設けました。芝川又右衛門邸席では明治村初となる煎茶席を開催しました。



3/29~5/25 「端午の節供~武将たちの集い2025」

今年の端午の節供は所蔵の郷土玩具のうち武将がモデルとなった土人形を紹介する展示を開催しました。ゴールデンウィーク期間には2丁目にて菖蒲と蓬で邪気を払う「軒菖蒲」を行いました。

6/7.8.14.15 「べらぼうに楽しもう!
明治の多色刷り体験」

明治村所蔵の錦絵から版木を制作し、多色刷りを体験していただくイベントを開催しました。版木は「建物」「乗物」「風俗」「行事」をテーマにスタッフ一押し錦絵を選定しました。



6/7 帝国ホテル中央玄関修理現場見学会

建築担当が屋上の防水層処理の経過や建物3階部分をご案内したほか、帝国ホテルの移築にあたり検討したことをお伝えしたり、解体材についての解説も行いました。

スタッフの“推し建物”ガイド及び“とっておき”ガイドツアー

開村60周年企画として普段見られない非公開エリアや写真スポットをご案内する「推し建物」ガイドと、テーマを設けて明治村内にある複数の建物を巡る「とっておき」ガイドツアー(次頁参照・事前予約制)を12月まで開催しています。

臨時休村について 入鹿池への自衛隊機墜落事故に関する捜索活動への協力のため、5/15(木)~5/23(金)まで臨時休村しました。



訃報

公益財団法人明治村理事であり、建築家・谷口吉生先生(谷口吉郎初代館長の長男)が2024年12月16日にご逝去されました。4月23日には、オークラ東京にてお別れの会が

開かれました。谷口先生のこれまでのご指導とご支援に衷心より感謝申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



写真7 階段室 玄関より屋根裏を見る

玄関から屋根裏へつづく階段室には、白漆喰をパテで盛り上げ、金銀の円盤で渦巻模様をつくり、真鍮粉を塗ってさらに存在感を強める写真7-10。クイーンストラップで開放的な屋根裏を作り写真11、小屋組強化のための金具を彩色して、物置空間を盛り上げる。

こうした住宅デザインの試みは、武田の手がけた都市や建築、デザインの広範な分野に大きな影響を与えた。和でありながら洋、実用でありながら理論でもある。そのような細部から家具写真12⑬、建築、都市へと及ぶ武田五一の融通無碍さが、後進に与えた影響ははかりしれないものがある。



写真9 一階玄関・階段室 ステンドガラス窓 板戸を開けた状態



写真8 一階玄関・階段室 ステンドガラス窓 渦巻模様漆喰壁真鍮粉塗装



写真11 屋根裏 強化金具は彩色している



写真10 渦巻模様仕上げに使用した円盤鍍



写真13 武田五一デザインの芝川邸の花台

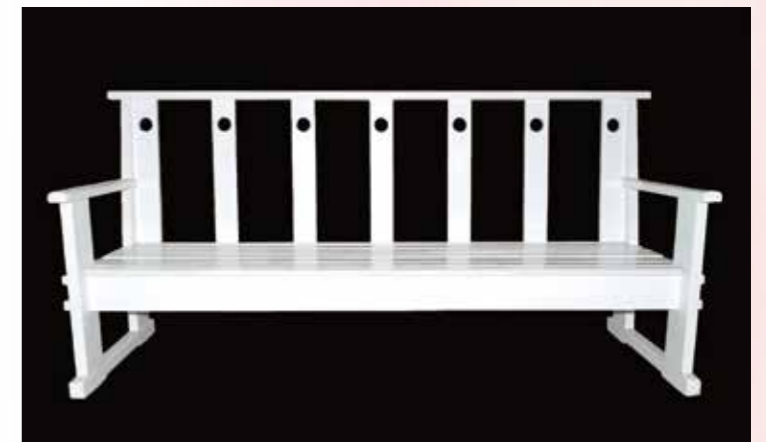


写真12 武田五一デザインの芝川邸のベンチ

註 「ドイツ壁仕上げ」とは、モルタルを主成分とする左官材料を、ササラ等で壁面に叩きつけて凹凸を出す仕上げ方法を示す。

主な参考文献
株式会社竹中工務店一九九六年「芝川邸と武田五一展(阪神大震災と文化財保護)」
博物館明治村二〇〇七年「特集芝川又右衛門邸」明治村だより「第四十九号」
博物館明治村二〇一〇年「明治村建造物移築工事報告書第十二集 芝川又右衛門邸」

A La Meiji-mura

森鷗外・夏目漱石住宅は、明治時代の典型的な中流階層の住宅であり、文豪・森鷗外や夏目漱石が住んだことでも知られています。この家を訪れると、それぞれの部屋の種類が表記されていることにお気づきになるかもしれません(写真)。これは、夏目漱石がこの家と自身の生活をモデルに『吾輩は猫である』(以下「猫の本」と表記)を執筆したこと、明治村が猫の本や回想録をもとに室内を再現しているためです。今回は、猫の本でも登場頻度の高い「茶の間」がどのように描かれているか注目してみましょう。



「猫の本」の茶の間から

1丁目9番地 森鷗外・夏目漱石住宅



写真1 柱時計の下に「茶の間」と表記



写真2 「茶の間」の再現展示

存在だったことがうかがえます。長火鉢は暖を取るだけでなく、お湯を沸かしたり、お茶を淹れたり、灰皿替わりになったりと何かと便利な道具です。では、茶の間はどのように描かれている

的な生活道具が登場します。たとえば、「茶の間の柱時計がチンチンチンと四時を打った」「茶の間へ出御になると、超然として長火鉢の横に座を占めた」とあるように、柱時計が掛けられ、長火鉢が据えられていました(写真)。とりわけ長火鉢は猫の本でも頻繁に登場し、

るのでしようか。まず、猫の本には長火鉢を囲んで人々が談笑する場面が描かれており、茶の間が人々の交流の場であったことがわかります。また、「苦沙弥先生(註一)と喧嘩をした「細君(註二)」が針箱と着物を抱えて逃げ込む場所も茶の間でした。「茶の間から細君が出てきて」「細君は茶の間へ引き下がる。」とあるように、細君にとっては落ち着いて過ごせる日中の居場所でもありました。さらに、茶の間は食事の場としても使用されていました。「長火鉢の傍に陣取って、食卓を前に控えた主人の三面には……」と始まる朝食の場面では、本文には明記されていないものの、当該シーンの挿



図 「猫の本」の食事シーンの挿絵

このように猫の本における茶の間は、食事・会話・仕事・休息など、日常のさまざまな活動が開かれる柔軟性の高い空間として描かれています。そもそも日本家庭は襖を取り払えば、いかようにも使用できる空間です。茶の間もまた特定の用途に縛られず、長火鉢や卓袱台が多様な使い方と人々の交流を支えることにより、生活の核となる空間でした。「珍野一家」、ひいては漱石の暮らしの息づかいが感じられるこの茶の間から、当時の生活文化に思いを馳せていただければ幸いです。

註一 珍野苦沙弥(ちんのくしゃみ)。本書の主人公である猫の「吾輩」の飼い主であり、中学の国語教師。漱石自身がモデルとされる。

註二 珍野夫人

引用文献 夏目漱石 二〇〇七年『吾輩は猫である』(岩波書店)

企画展「ざくざく! ぞくぞく! わくわく! 明治村の“Oh!”たから大集合」

“Oh! た・か・ら”ご紹介

明治村の60年を辿る企画展では明治村を象徴する「お宝」の数々を出品しました。その中でも選りすぐりの逸品をご紹介します。

明治村版『吾輩は猫である』



財団法人明治村常務理事を務めた野田宇太郎氏が監修した明治村限定の複製版。アンカット製本や「天金」というこだわりぶり。

定礎石から出てきたお宝



聖ヨハネ教会堂の建築時にすえられた定礎石から発見された聖書やコイン。建物の解体によって初めてその存在が明らかになった。

おもてなし衣装のドレス



「建物ガイド」を開始した当時にスタッフが着用していたドレス。デザインや生地にもこだわって制作した。

宵の明治村

浴衣なら入村料が半額!

8/9(土)~17(日)、23(土)・24(日)、30(土)・31(日)

20:30まで延長開村!

※入村は20:00まで。 ※一部エリアは17:00まで。 ※荒天時は延長開村中止の場合があります。

花火競演 ※荒天中止



ライトアップされた歴史的建造物と、間近で見られる鮮やかな花火との競演をお楽しみください。

時間 20:00~ 会場 帝国ホテル中央玄関前芝生広場付近

野外ステージショー ※雨天中止

時間 ①18:30~ ②19:30~ 会場 帝国ホテル中央玄関前芝生広場

出演者 明治偉人隊 / 琉球国祭り太鼓 / 笑 / JAZZ SURVIVOR / 大治太鼓 尾張一座 / 青春応援団 我無沙羅 / 火付盗賊 / うりずんエイサー

体感型プロジェクションマッピング 夏夜の賑わい

金魚や花火など「夏」をテーマにした映像が教会堂を彩ります。地面の映像に触れると金魚が動き出したり花火が打ち上がったりとするほか、教会堂の壁面や周囲のオブジェも変化!

時間 18:45~20:30 会場 聖ザビエル天主堂および付近 協力 名古屋造形大学

ミッション・イン・ホスピタル ~明治の病院探検ツアー~

人々を苦しめてきた病魔の正体を探ろう!

時間 ①18:00~ ②18:30~ ③19:00~ ④19:30~

定員 各回10名様 ※16:00より会場にて整理券を配布します。 会場 名古屋衛成病院

博物館 明治村 金魚浪漫

時間 10:30~16:30 ※「宵の明治村」開催日は10:30~19:00 展示観覧料※ 大人(高校生以上)800円 小・中学生500円 ※展示観覧料特典付き 会場 千早赤阪小学校講堂

金魚絵師として名高い深堀隆介氏の代表作「金魚酒」シリーズや「百船」と「百千船」を用いて金魚屋台を模したインスタレーション「平成しんちゅう屋」のほか、明治村が所蔵する民具と融合した今イベント限定インスタレーションなど、当時の人々の暮らしを支えた品々と深堀氏の作品が織りなす、明治と現代を繋ぐ金魚の世界をお楽しみください。

6のつく日は! スタッフの“推し建物”ガイド

実施日 7月~9月の6日、16日、26日 ※休村日を除く(予約不要) 参加料 無料 実施時間 ①10:30~12:00 ②13:30~15:00

0のつく日は! “とっておき”ガイドツアー

実施日 7月~9月の10日、20日、30日 ※休村日を除く 参加料 お1人様500円(各回15名様) 実施時間 ①11:00~ ②13:30~ (各回約60分)

詳細・予約

記載のガイドおよびガイドツアーは下記の二次元コードよりご確認・ご予約ください。



各イベントの詳細は、明治村公式HPをご覧ください。